

# 第9回 奈良県こども・子育て推進本部会議

令和7年11月21日(金)

会場: 第1応接室

# 次 第

## 開 会

1. 令和8年度こども・子育て関連施策（案）について
2. こども・若者への意見聴取について
3. ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について
4. 今後の予定について

## 閉 会

# 1. 令和8年度こども・子育て関連施策（案）について

# 令和8年度こども・子育て関連施策(案)について

## I. 施策のとりまとめについて

本県のこども・子育て政策を、「奈良県こどもまんなか未来戦略」に則り、部局の連携を深め総合的に推進するべく、こども・子育て推進本部にて、各部局から提案された事業をとりまとめ共有するもの。

## II. 提案事業

※R7.10月時点

部局名	提案事業数			
	令和8年度	令和7年度	令和6年度	R8-R7
知事公室	3	3	2	-
地域創造部	10	10	5	-
こども・女性局	49	49	35	-
福祉保険部	11	10	9	+1
医療政策局	13	12	9	+1
環境森林部	8	-	-	+8
産業部	8	8	11	-
観光局	6	-	-	+6
食農部	5	-	-	+5
県土マネジメント部	5	5	3	-
まちづくり推進局	2	2	4	-
教育委員会	17	16	13	+1
警察本部	13	13	6	-
合 計	150	128	97	+22

➤ 総提案事業数は令和7年度より  
**22事業増加し150事業**

➤ 今年度から本部員となった環境  
森林部、観光局、食農部の提案  
は**19事業**

提案のあった事業を部局間で情報共有し、今後もより一層のこども・子育て政策の総合的な推進に取り組む。

## 2. こども・若者への意見聴取について

# こども・若者への意見聴取について

## I. こども・若者委員の選任

県のこども、子育て施策について審議する「奈良県こども・子育て支援推進会議」に、**2名**（高校生）のこども・若者委員を選任（継続）

男女共同参画の推進に関する重要事項について調査審議する「奈良県男女共同参画審議会」に、**2名**（大学生、社会人）のこども・若者委員を選任（新規）

名称	任期	条件	公募期間	選考方法	選任後の第1回会議	
					日時	議題
奈良県こども・子育て支援推進会議	令和7年 9月1日～ 令和9年 8月31日	満30歳未満 の県内在住 者	令和7年 5月19日～ 7月22日 (約2か月間)	1次選考： 作文	令和8年2月 (予定)	「奈良県こどもまんなか アクションプラン」の効果 検証について
奈良県男女共同参画審議会				2次選考： 面接	令和7年 9月11日 10:00～ 12:00	「第5次奈良県男女 共同参画計画・第3 次奈良県女性活躍推 進計画」の策定につい て

### 【取り組むにあたって注意したポイント】

- ・ 「こども・若者」の代表としてではなく、個人として  
のご意見をいただきたいことを丁寧に説明
- ・ 会議資料の事前配布及び事前説明の要否の  
確認
- ・ 会議に先立ち、県の施策等を説明する機会の  
提供 等

奈良県こども・子育て支援推進会議



奈良県男女共同参画審議会



# こども・若者への意見聴取について

## Ⅱ. 学校訪問の取組状況

No.	実施日	聴取テーマ	課室名	聴取対象	参加状況
1	7月9日	公共交通機関の利用について	リニア・地域交通課	県立桜井高校	9人
2	7月11日	男女共同参画社会、こどもまんなか未来戦略について	こども・女性課	奈良県立大学	約100人
3	9月9日	観光産業の担い手育成について	観光戦略課	県立商業高校	2人
4	10月10日	食品ロスについて	豊かな食と農の振興課	町立大淀緑が丘小学校	28人
5	10月27日	奈良県の広報について	広報広聴課	市立郡山西小学校	81人
6	10月28日	若者に選ばれる職場について	人材・雇用政策課	県立奈良北高校	15人
7	10月31日	ジビエについて	豊かな食と農の振興課	町立王寺北義務教育学校（前期）	31人
8	10月31日	奈良県職員の採用について	行政・人材マネジメント課	町立王寺北義務教育学校（後期）	7人
9	11月5日	教員の働き方改革について	教職員課	市立香芝北中学校	6人
10	11月20日	公共交通機関の利用について	リニア・地域交通課	県立高等養護学校	7人

# こども・若者への意見聴取について

## Ⅲ. こどもまんなかクラブの活用

- 【対象者】 令和7年4月時点で小学1年生世代から29歳までの方
- 【登録人数】 49人（最年少は6歳、最年長は29歳）
- 【聴取方法】 オンラインアンケート、対面型イベントなど
- 【R6実績】 12回（オンラインアンケート9回、対面型イベント3回）

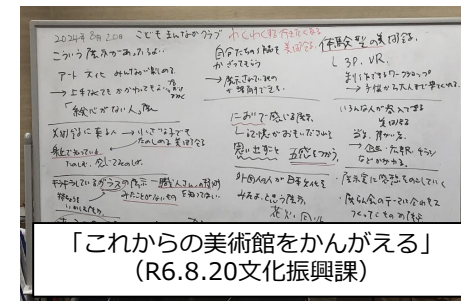


今年度の活用状況

実施日	内容	課室名	参加状況
8月18日、31日	「あそびのひろば（対面型イベント）」の周知	公園企画課	506人 (来場者)
9月10日	男女共同参画社会について（オンラインアンケート）	こども・女性課	5人
11月17日	未来の魅力ある農業の姿について（オンラインアンケート）	担い手・農地 マネジメント課	調査中

クラブメンバー同士が交流を深め、更なる意見形成の場となれるよう、対面型のイベントも開催中

<対面型イベントの開催事例(R6～R7)>



引き続き、積極的な活用のご検討をお願いします。



### 3. ジェンダー平等推進プロジェクトチームの 取組状況について

# ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について

## I. 前回(第8回本部会議)の説明内容

### 検討の方向性

性別にかかわらず希望に添った生き方・働き方を実現できるよう、まずは県庁の慣習や既存の事業についてジェンダー平等推進の視点を盛り込み、より良いものにできないか確認・検討していく。

### 具体的な取組案

#### ➤ 県庁の職場環境の改善

管理職を中心に、性別による思い込みなどの職場の慣習や意識を変えるための実践内容を検討

例: 令和7年度より、新任課長級研修において新たにジェンダー平等推進に関する研修科目を設け、組織として意識の変革に継続的に取り組む。

#### ➤ 施策展開

各所属の計画の策定・更新や事業の見直し時に、ジェンダー平等の視点を盛り込むことを検討

## ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について

### Ⅱ. 県庁の職場環境改善の取組検討状況(研修実施等)

- 令和7年度
- ・ 新任課長級研修において新たにジェンダー平等推進に関する研修科目を設定
  - ・ アンコンシャス・バイアスに関する職場研修導入に向け、ジェンダー平等推進PT所属において、試行的に研修実施  
(研修資料やファシリテートの留意点などを点検し、各所属への研修導入を準備)

PT所属:行政・人材マネジメント課、人事課、こども・女性課、産業創造課  
人材・雇用政策課、教職員課、人権・地域教育課

- 令和8年度
- ・ 若手職員に対して、アンコンシャス・バイアスへの気付きを促す研修を実施予定  
対象:3年目研修
  - ・ アンコンシャス・バイアスに関する職場研修を導入予定  
今年度の試行実施を踏まえ、研修資料・手順書を作成  
職場での気づきを促すための所属長用のチェックリストを作成

## ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について

### Ⅲ. ジェンダー平等の視点を盛り込んだ県計画等の策定について

- 多様性が尊重され、誰もが暮らしやすい地域社会を実現するには、一方の性の視点のみに立つのではなく、ジェンダー平等推進の視点に立った計画や男女別の影響・ニーズに配慮した施策を推進（ジェンダー主流化（※））することが重要。
- その前提として、**男女の置かれている状況を客観的に把握**するための統計（ジェンダー統計）を充実させるなど、**男女別データの把握・分析を推進**する必要がある。
- 今後、国の動向を踏まえ、県計画等の策定・改訂時に、男女別の分析等を行うことを推奨。
- 特に、**多様な人材の参入が期待される分野においては、男女別の課題や参入の阻害要因について分析**を行うよう庁内に働きかけ。
- 計画等の策定に向けた調査の段階から、こども・子育て推進アドバイザーをはじめとした有識者等に相談できる仕組みを検討。

（※）ジェンダー主流化

あらゆる施策において、固定的性別役割分担、性差別、偏見等が社会的に作られたものであることを意識する視点を取り入れ、一つの施策が結果として男女間で格差をもたらしていないかを点検し、施策効果の向上を図るもの

#### 【他県の例】 埼玉県

誰もが暮らしやすい埼玉県を目指し、ジェンダー主流化を県の施策に反映させ、埋もれていた男女各々の視点を取り入れた取組を進めることを目的に、令和5年度、あらゆる施策を点検し、男女間格差の洗い出しを実施

#### 事業点検の試行(令和5年度) 5つのモデル事業

- ・ ジェンダーの視点に立った災害対応(危機管理防災部)
- ・ 新規農業者の育成・確保(農林部)
- ・ 男性職員の育児休業の取得促進(総務部)
- ・ 女性の創業支援(産業労働部)
- ・ 都市公園施設の整備(都市整備部)

## 埼玉県モデル事業(一部)の紹介

### ① ジェンダーの視点に立った災害対応

#### ・ 状況の把握方法

内閣府調査に加え、市町村にアンケート・ヒアリング

【避難所の開設・運営へのジェンダー視点の導入】

計画等への形式的な記載に留まり、男女共同参画の視点から訓練・研修を行った市町村は少数。

【災害対応へのジェンダー視点の導入】

計画等への記載は進んでいるが、策定プロセスから女性も参画する市町村は半数。

#### 【取組】

避難所でジェンダー視点導入を進め、避難生活の安心安全の向上が急務として、県標準手引き及び映像資料を作成し、市町村版マニュアルの策定を依頼。

#### 参考：埼玉県地域防災計画

自主防災組織に女性の責任者を置くこと、応援職員の派遣の際は、女性の視点で避難生活の課題改善のため女性職員を積極的に派遣するよう努める等、具体的に記載。

### ② 新規農業者の育成・確保

#### ・ 状況の把握方法

就農相談内容の分析、女性農業者へのヒアリング

【就農相談】

女性は「農業法人で働きたい」、「小規模農業をやりたい」とする割合が高い。

【女性農業者の声】

女性が働きやすい環境（トイレや更衣室など）が整備されていない、女性農業者の経営モデルが身近にいない。

#### 【取組】

女性が就農しやすい環境の整備が不足、女性就農者の受け皿となる農業法人の環境整備が必要として、農業法人による女性が働きやすい環境整備（トイレ、更衣室等）を支援。

#### 参考：次期埼玉県農林水産業振興基本計画（案）

女性の就農を促進するため、女性が働きやすい環境整備をはじめとした取り組みを記載。

### ③ 都市公園施設の整備

#### ・ 状況の把握方法

公園利用者に対するアンケート

【満足度】

トイレや授乳室（防犯対策、設置場所等）に対する女性の満足度が低い。

#### 【取組】

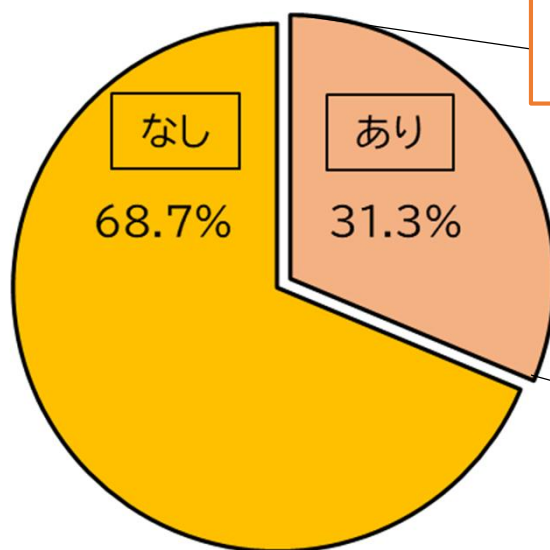
性別によらず誰もが利用しやすい遊具や授乳室等のある広場、誰もが安心して快適に利用できるトイレの整備が必要とし、広場の整備やトイレの設置を実施。

## ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について

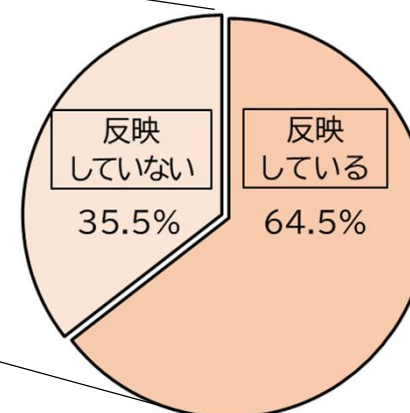
- 県計画等において、策定時に根拠にした統計等において男女別データがあるものは約3割。
- さらにそのうち、当該データから男女で異なる課題やニーズなどを分析して施策に反映しているのはおよそ6割。

### ① 県計画等における男女別データの把握の有無（N = 99（※））（令和7年7月1日時点）

（※）県計画等のうち、男女の記載がないもの（動植物や環境に関するものや、特定の分野に特化したものなど）を除く。



### ② ①のうち施策・取組に男女別データを反映（※）しているか （※）男女で異なる課題やニーズなどを分析して施策を検討する等



#### 【例】

##### ○第11次奈良県職業能力開発計画

女性の労働力人口や就業率などから、女性が働きやすい環境をつくることや再就職支援の重要性について記載。

##### ○奈良県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画書

産業動物分野及び公務員分野において女性獣医師の占める割合が増加傾向にあることから、女性獣医師が継続的に就業できる環境の整備を推進するとともに、男女ともに育休を取得しやすい環境をつくること等について記載。

## 4. 今後の予定について

## 今後の予定について

令和 7 年度

5月26日

### 第 8 回本部会議

令和 7 年度の主なこども・子育てに関する施策について  
こども・若者への意見聴取について

11月21日

### 第 9 回本部会議

令和 8 年度こども・子育て関連施策（案）について  
ジェンダー平等推進プロジェクトチームの取組状況について

2月頃

### 第10回本部会議

「奈良県こどもまんなかアクションプラン2026（案）」の共有